

令和8年度都立荒川工科高校定時制課程における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	表現力を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・話す機会を増やす。 ・生徒のスピーチを印刷して授業で配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の文章を冊子にする。 ・俳句などの生徒作品集を出す。
数学	基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育内容の学び直し ・スモールステップを取り入れた授業 ・振り返りの実施 	社会の事象などから設定した問題の解決
地歴公民	PBL(課題解決型学習)を活用した基礎・基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・答えのない問題を繰り返す最適解への導き ・SDGsの取組や災害対策 ・授業を大切にし失敗から学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との連携授業(ICA出前研修、荒川区社会福祉協議会など)
理科	「探究活動」を中心とした授業展開による主体性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・探求型実験を中心とした授業の実施。 ・実験結果を論理的に考察し、自らの言葉で表現する練習を授業内で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習(図書室利用) 授業で学んだ事に対して自らの疑問を投げかけ、各々調べて学んだ内容を新聞という形で残す学習を実施。 ・深い学び(研究) 1つの実験を、条件を変えて複数回行い結果をまとめる。予想と比較して、新たに気づいたことを発表。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動の楽しさ」を実感できる指導の充実 ・「健康課題の解決」に向けた学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力や性別等の違いを超えて、仲間とともに楽しむ方法を考え、ゲームを実施 ・生徒の実態に合ったオリジナルのパワーポイントを作成する等、ICT機器を効果的に活用し、生徒の興味・関心を引き出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体に取り組むことのできる運動部を設置 ・身近な日常生活の体験や事例などを題材に話合う等、主体的で対話的な学習を積極的に取り入れる
工業	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」につなげる学習の充実 ・「安全教育」指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本を大切にしたい少人数指導 ・座学及び実習等における継続的な指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を基盤とした、課題発見及び解決を行うため、振り返りや考察を主体的にできる力を養う。 ・自立的に安全に配慮した管理、作業を実施できる力を養う。